

巡視員の安全対策 巡視活動の安全確保・安全第一に

平成30年度 朝日山地森林生態系保護地域巡視員会議(春季)

平成30年度の夏山シーズンを向かえる、6月9日(土)に鶴岡市朝日中央コミュニティセンター(すまいる)において春季の巡視員会議を開催しました。



新たな巡視員への委嘱状の交付

今年度は次の活動を主に行うこととしました。

- ①合同パトロールを9月に実施
- ②活動終了後に巡視員会議(秋季)開催
- ③ニホンジカやイノシシの目撃した場合は活動報告に記載
- ④朝日山地の区域表示看板(小看板)の点検・整備、説明看板(大看板)の老朽化が著しい看板を撤去し、新たに仮設の看板を設置
- ⑤登山道のショートカット規制

東北森林管理局添谷計画課長より「朝日山地の管理のためには、入林者に対するマナー啓発など、各団体、各巡視員の皆様による巡視活動が非常に貴重となっている。本日の会議では、意見交換、情報交換をとおして、安全で効果的な巡視活動を引き続き継続して行きたい。」と挨拶がありました。



巡視員からの質問

質疑応答・意見交換では、朝日山地でも見かけるようになったニホンジカへの対応策について、監視カメラのほかに、白神山地や早池峰山周辺では囲い罠による捕獲を試みていることや、ヤマヒルに関する情報など様々な意見・質問がありました。

最後に、笠井朝日庄内森林生態系保全センター所長より、「熊との遭遇や熱中症対策など安全対策を充分に取り入れた巡視活動をお願いします。」と締めめの言葉がありました。



質問に答える添谷課長

林野庁東北森林管理局
朝日庄内森林生態系保全センター